

季刊

# 青葉の森から

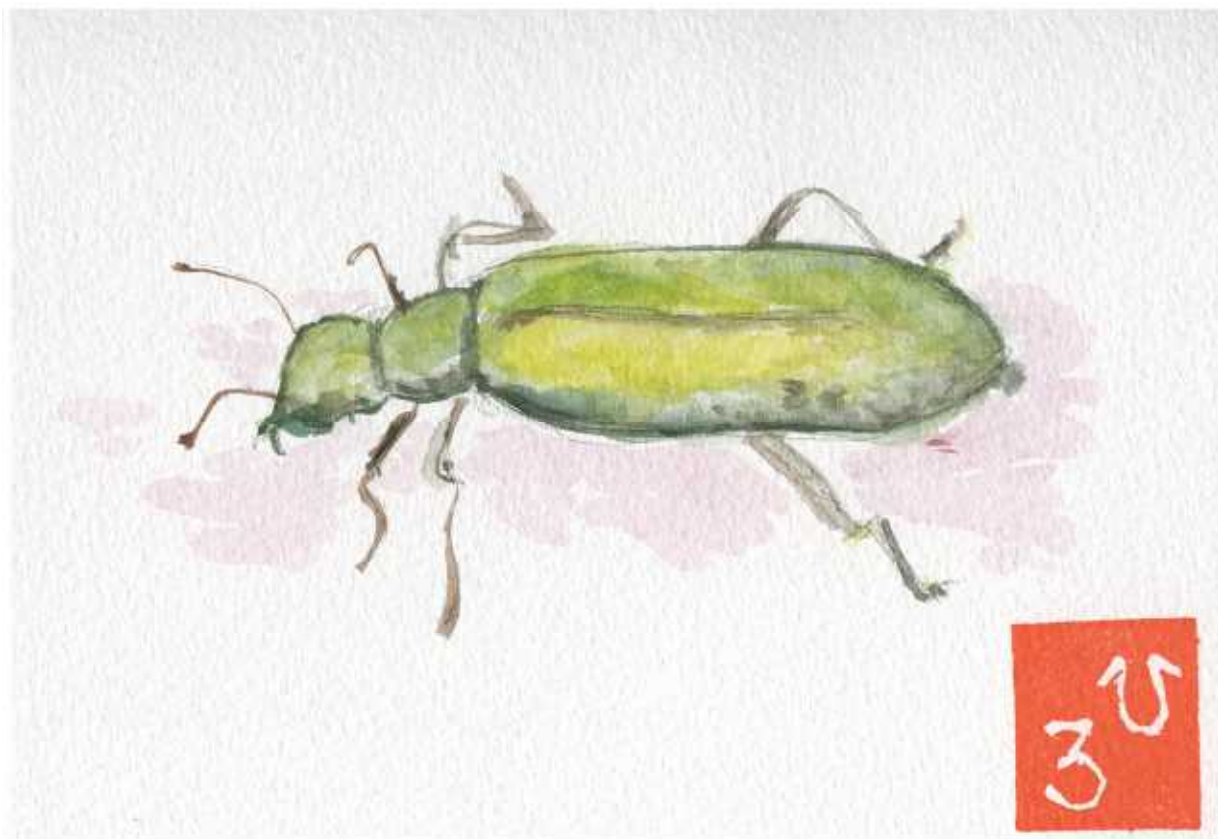
第13号

夏

2009年7月10日発行

みんなのギャラリー

ご自慢の作品をどしどしご応募ください。



アオハムシダマシ

(森で絵手紙のイベントの作品から)

青葉区 八巻 摩紀さん

梅雨のまっただ中にたたずんで、雨音とときおり寄せるヤブサメの声に身をあずけました。すると、私の鼓動は、徐々に森の呼吸とシンクロしていくようです。何に包まれようとも肯定された個であること、それでも果てしなくすべてとつながっていることが心地よいバランスで感じられ、より多くのことを受け入れられそうな前向きな気持ちになりました。

6月の静かな雨の日曜日でした。

...休日なのにお客さん少なすぎない? 雨に負けずもっとみんな遊びに来て~

(雨の日の方が元気な立花)

こう例となった絵手紙イベントですが、新入社員の立花は初参加、というわけで、仕事そっちのけの体験レポートです。



ヘタがいいんです！

講師をしていただいた齋藤先生によると「絵手紙に失敗なし。ヘタでいい、ヘタがいい。」が絵手紙の合言葉だそうです、これなら初めての私でも安心

して描けそうです。

まずは、森の中で何を書くか探します。森はヒメシャガが最後の力で輝き、代わってギンリョウソウがどうも恐れ入りますとていねいにおじぎをしつつ顔をだしたところでした。齋藤先生が特徴をとらえた書き方やレイアウトなどをわかりやすく教えてくれました。なるほど、必ずしも見たままに書くというものではないのだそうです。



まじめに勉強中

あえなく撃沈



つけて迷わず描いてみました。しかし、どうも勢いだけの絵になってしまいました。意気込みは感じるけどとみな苦笑、やはり、その時に感じたものでないと、予め考えておいたものダメですね。

歩き進むとコゴメウツギが小さな白い花をたくさん咲かせていました。2週間ちかくつぼみのままで開かなかった花とようやく対面できました。まだ半分近くつぼみなのもかわいらしい、これを描いてみようと思います。

管理センターに戻って色付けを教わりました。いろんな色をにじませながら落としていくと自然の  
いろいろな色をしんちょうにのせて  
そのような色になるのだそうです。また、描くときに筆ではなく、枝を使っても良い線ができるそうです。



いろいろな色をしんちょうにのせて

絵が描けたら言葉をそえて、最後に消しゴムでスタンプを作ったら完成。私も満足の作品ができました。みんなの作品です。



絵手紙はすぐに忘れてしまいそうな、ちょっとした出会いも印象深いものにしてもらえると思いました。手軽に描けちゃうというのも良いですね。

たまには写真と違った感動を。次回はみなさんも一緒にしましょう。

# ?これって…なんだべ?

—森で見つけたヘン?!なもの—

深い緑に覆われた青葉山の斜面を見ると、葉っぱがお化粧をしたように白くなっているところがあります。一見葉っぱが裏返しになっているようにも見えますが、



近づいて見ると白くなっているのは葉っぱの表側です。

マタタビは、梅雨に入る頃から一部の葉の色を緑色から白く変えます。その理由としては、マタタビ

の花は葉の陰の目立たないところに咲くので、葉の色を白く変えて花粉を運んでくれる虫たちに花の咲いている場所を知らせるのだと考えられています。

試しに、白くなった葉っぱをめくってみると、直径2cm くらいの梅の花のような形をした白い花が見つかります。

青葉の森では、展望広場からモミの天然林に向かう

散策路沿いで見られます。葉の陰に隠れるように咲くので、気づかずに通り過ぎてしまうかもしれませんが、白い葉っぱを目印にして、ひっそりとうつむき気味に咲くマタタビの花をぜひ見て下さい。顔を近づけると微かではありますが、柑橘系の爽やかな香りがしますヨ(半)。



## 森のひとこま

### 管理センターのフキをあらすのは誰?

ゴールデンウィークが過ぎて静かになった青葉の森。アオゲラの声がよく通る朝、管理センターのまわりをほうきで清掃していると、フキが伸びてきた斜面が広くふみあらされていることに気づきました。

誰が入ったのかしら。でも、フキをとったような感じはしません。フキは倒れながらも残っています。また、踏みあともはっきりとしません。おそらく、人間ではないような気がしますし、雨風でもないようです。ということは、何か動物のしわざでしょうか。職員たちの謎となりました。

6月、梅雨入りしてくもってはいるものの、まだ雨は降っていない昼休み。いつも通りお弁当を口にしていると、窓の外ヤマグワの大木にリスが通るのが見えました。すぐに窓に近づいて目で追いかけると、毛の色があわく、体も小さく、まだ子供のようでした。かわいいなあと見とれていたら、下の道の方からガサガサと大きな音が聞こえました。

こんな時間に人が通るのは珍しいと思いながら視線を落とすと、人ではなくて、リスよりもずっと大きな動物がなにやらもぞもぞとしています。これは、まだ見たことの無い動物のような気がします。です。キツネでしょうか。タヌキでしょうか。いい

え違います。この青葉の森の住民はアナグマでした。いっしょうけんめい地面をほって、私たち職員にはまったく気がつかない様子です。

アナグマはミミズが好物で目がないらしく、上から私たちが見学していることなんておかないし、ほっては食べて、ほっては食べてを繰り返しています。

これで、ようやくフキをあらした犯人がわかりました。アナグマなら大歓迎。いつでも食べに来てね。



# 夏の… やってみよう!!

## 葉っぱのフロッタージュ

5月下旬、宮城教育大学で青葉の森をご利用いただき、青葉の森職員も授業にまけてもらいました。その中で、葉っぱのフロッタージュをしたので紹介します。

こちらは宮教大の学生のみなさんが作ったフロッタージュ。ほんの10分くらいの短い時間だったけど、かわいい作品ができました。みんなもいろんな葉っぱでやってみて。



こんなの見つけたよ

森を歩いてお気に入りの葉っぱをゲットします。1枚でも複数枚でもOK。

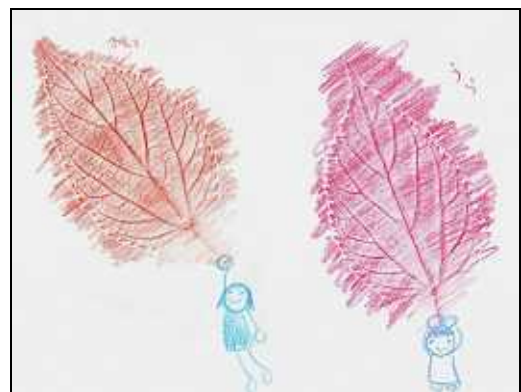


えんぴつでこすると…

葉っぱを好きな形に並べてその上に紙をのせ、えんぴつなどでこすります。



できあがり～



あら不思議！素敵な絵が浮かんできたよ。というわけで、葉っぱのフロッタージュ完成

イベント!



## ♪親子でワクワク「森とあそぼう!!」

毎月第2土曜日 午前10時～11時30分

集合場所：青葉の森 管理センター

子どもと保護者とと一緒に自然に親しみます。  
詳しくは、毎月発行の“市政だより”をご覧ください

青葉の森で日食を見よう!!

日時：平成21年7月22日(水) 9:30～12:30

46年ぶりの日食 見れるかなあ? お申込みは263-2101 青葉の森管理センターまで

## シジュウカラと巣箱

5月20日、管理センター前に設置した竹の巣箱にシジュウカラがタマゴを生んでいることを確認しました。いつの間に巣をつくったのか、さっぱり気づきませんでした。

しばらくしてヒナが生まれたのがわかったのは6月2日。タマゴを確認してから13日過ぎていきますので、もう少し早く生れたかもしれません。ヒナが生まれると親鳥は大忙し。お父さんとお母さんがかわるがわる、一日に何度も餌を運んできます。しかし、親鳥たちの他にも巣箱のヒナを気にかけているものがありました。



事件がおきたのは6月7日の雨の中。大きな黒い影が巣箱をおおい、ヒナたちがうばわれてしまったのです。私たちは作業中で目を離しており、現場でヒナを助けてあげることができませんでした。カラスも同じく子育ての時期でたくさん食べ物が必要なのでしょう。巣箱を見守り続けていたはずでしたが、思いもよらぬできごとにぼう然とするほかありませんでした。

振り返ると、巣箱の位置や形状などもう少し工夫が必要だったかもしれません。同じことをくり返さないため、今回の巣箱は撤去しました。自然のままが一番（自然に力がないときをのぞいて）ということを確認しました。

## イベントのお知らせ



ちいさな博士がガイドする

「きのこ？木の子？キノコのふしぎ？」

日時：平成21年7月18日(土) 10:00~11:30  
小学4年生のキノコ博士が不思議なキノコの世界にご案内します。



ちいさなナチュラリストがガイドする

「青葉の森ってどんなところ！？」

日時：平成21年7月20日(祝) 10:00~11:30  
3歳から小学校高学年までのナチュラリストたちがご案内します。



森でクラフト「夏休み・自由研究かけこみ寺」

日時：平成21年8月15日(土) 10:00~12:00  
小枝や木の実を使って、楽しく自由研究を仕上げちゃおう！！



詳しくは市政だよりをご覧ください

# お便りコーナー

青葉の森のことだけでなく、みなさんの自然の楽しみ方、ふだん思っていることなどなんでも結構です。みなさんからの便りお待ちしております。

## 絵手紙イベントの感想をいただきました

泉 ジョウユムラモリツネ  
 森の絵手紙「若葉色の風」にリクエストに答えて、  
 仙台市には「緑のネットワーク」として現在27ヶ所の公共施設が設置されている。  
 杜の都として自然の美を大切に保全に取り組まれていることは一市民として大変うれしく感じている。  
 27ヶ所の施設はそれぞれ特色を出しながら運営されているが、私はその中でも青葉の森緑地が気に入っている。緑地センターに通いはじめたから、ここ4年になるが、散策のモデルコースとして整備があることが何よりである。又初心者でも比較的気軽に歩ける緑の道が、四季折々楽しめる。そんな中、仙台市役所より森の絵手紙の催しがあることを知った。早速申込みをし当日は天候にも恵まれ春の野草が残る姫ヤギ、ニッコウキスゲを半沢、また西スタジアムの説明を受けながら、又観察スケッチを察察、蕨の塔等のエッセイを拝見し、作り出すことが出来た。  
 又秋にも絵手紙の催しが開催されているようなので、それまで腕を磨き是非参加したいと思える。又数々のオカに参加して来たという声もあり、強く思った。感謝、感謝。



## 青葉の森緑地への交通の便

※市営バス 仙台駅西口ターミナル



- 青葉台行き → 宮教大前 → 中央入口・管野センターはちらで下車
- 宮教大行き → 宮教大前 → 中央入口・管野センターはちらで下車
- 青葉台行き → 青葉台下 → こもれびな場はちらで下車
- 交通公園循環 → 交通公園前 → こもれびな場はちらで下車
- 交通公園行き → 川内営業所前 → 三居入口はちらで下車

休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日）年末年始（12月28日～1月4日）  
 開館時間：9：00～16：30  
 発行：(財) 仙台市公園緑地協会 企画・編集：仙台市青葉の森緑地 管理センター  
 〒980 0845 仙台市青葉区荒巻字青葉 260  
 :022 263 2101 Fax:022 263 2102

[http://www.sendai-park.or.jp/web/guide/info\\_oba.html](http://www.sendai-park.or.jp/web/guide/info_oba.html)（お知らせをクリックするとイベント情報がご覧になれます）